



加藤剛
外科副部長

一般的に「脱腸」と呼ばれます。患者の八割以上は男性で、四十歳以上がなりやすいです。加齢で下腹部から足の付け根(そけい部)の組織が弱り、腹の中の腹膜が袋状に飛び出る病気です。三種類あり、一番多いのはそけい靱帯の上で外側から出る「外そけいヘルニア」。内側から出る

②0 成人そけいヘルニア(外科)

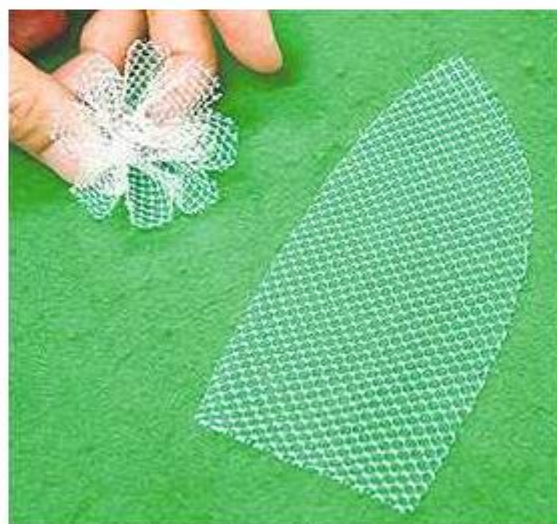
のは「内そけいヘルニア」。出産を経験した女性に多いのは、そけい靱帯の下から出る「大腿ヘルニア」です。

子どもは自然に治るケースもありますが、成人は手術が必要で、主流は「プラグ法」。シート状

のポリプロピレン製メッシュを筋膜の弱い部分に入れてヘルニアの出口をふさぐ方法です。

長年現場で使われ、安全性も確認されています。

出口を糸で縫い合わせる以前の方法に比べ時間



ヘルニアの出口をふさぐ手術で使うポリプロピレン製メッシュ＝名古屋市中区の中日病院で

は半分以下、スムーズな術後二週間でゴルフができる人もいます。

約1%に低下しました。筋力トレーニングで急に下腹部に力を入れすぎるとこの病気を起こす人がいます。重い物を持つ時なども注意が必要です。

当院は成人が対象で、前日入院、手術翌日に退院し入浴も可能です。手域医療連携室長・談

「プラグ法」手術は短時間

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院＝052(961)2491